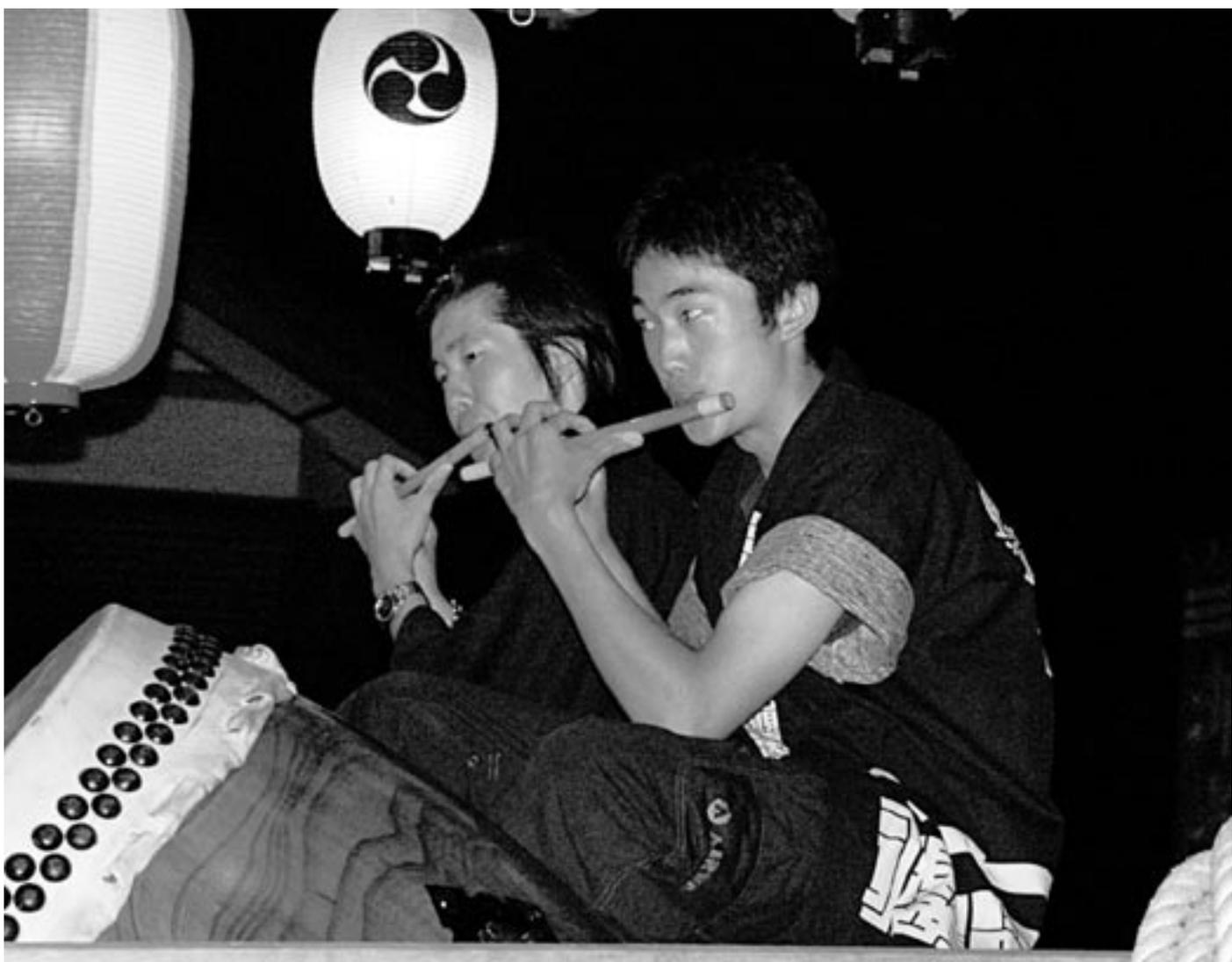


みしま



青年の横笛を聞く秋の夜

9月15日、宮下地区の秋祭り。凛とした表情で横笛を吹く中学生が大人びて見えた。(関連記事P6)

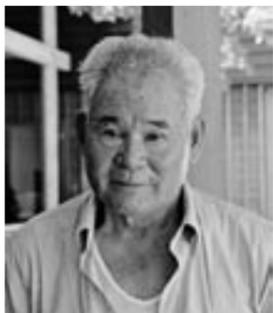
初の名誉町民に宮崎清先生 P2

三島は元気な高齢者の町 三島町敬老会 P4

「奥会津案内人」講座 P8



宮崎先生おめでとう！



伝統工芸士
二瓶新永さん(大登)

とにかく先生は気持ちのいい人だ。千葉から何度も来てくれた。でもあいさつはちょっと長いなあ(笑)。



伝統工芸士
五十嵐文吾さん(大登)

先生は大登に「宮崎研究所」を構えて調査していたよ。だいぶ議論したこともあったなあ。ものづくりは信念が大事なんだ。

先生にとって三島は貴重なふるさと

JA長野開発機構
地域開発課長
西牧研治さん

(三島町で研究員として昭和58年から8年間勤務し、編み組細工のデザインを考案するなど生活工芸の振興にご尽力されました。)



宮崎先生が学外演習の地として初めて三島町を訪れたとき、私も学生として同行していました。当時、宮崎先生はまだ若々しい講師で、我々学生にとってとても身近な存在でした。

就職してから進路に悩み、相談に訪れた私に「三島に行ってみないか」と推してくれたのが宮崎先生です。その縁で三島町の生活工芸運動に8年間携わり、大変貴重な経験をさせていただきました。

最近はお目にかかる機会もほとんどなく、雲の上の人になってしまった感がありますが、偉ぶらない柔軟なお人柄は変わらないのでしょうか。大きくなる肩書きとともに忙しい日々を送っておられると思いますが、先生にとって三島町は裨脱いでほっとできる貴重なふるさとではないかと思えます。これからもお元気でますますご活躍ください。あわせて三島町がものづくりの町としてさらに発展することを心よりお祈りいたします。

町民の皆さんと一緒にいただいた栄誉です 宮崎 清 先生

「三島町に来たとき、伝統と生活文化を守っている町民の方々の姿に感動しました。自信を持ってものづくり、地域づくりに取り組んでほしいと願い、幾度となく三島へ通いました。名誉町民に選ばれたことは光栄で感謝しています。多くの町民の皆さんと一緒にいただいた栄誉だと思います。」

宮崎 清【プロフィール】

昭和18年1月2日 山梨県生まれ 64歳
千葉県習志野市在住
千葉大学理事・副学長、工学部デザイン工学科・同大学院自然科学研究科教授、東北工業大学工業意匠学科非常勤講師、中国湖南大学・中国江南大学名誉教授 ほか

■経歴

日本デザイン学会会長、日本民具学会評議員、国土庁地域振興アドバイザー、経済産業省伝統的工芸品産業審議会委員、文部科学省文化審議会専門委員、グッドデザインGマーク選考委員会委員 ほか多数

■主な研究テーマ

- ①生活用具の生態学
- ②地域開発計画と実践
- ③伝統的工芸品の意匠解析

■主な著書

わら加工の絵本 (2006年著)
伝統的工芸品Q&A (1994年著)
図説 藁の文化 (1994年著) ほか多数

■主な受賞

勝見勝賞 (2005年)
デザイン学の振興に関する優れた業績
経済産業大臣賞 (2000年)
伝統的工芸品産業の振興に関する一連の研究
国井喜太郎産業工芸賞 (1989年)
三島町の生活工芸運動を通じた地域振興の実践
日本デザイン学会学会賞 (1988年)
藁の意匠と生活文化に関する一連の研究
ほか多数

生活工芸運動の師 三島の生活文化を掘り起こす



名誉町民となった宮崎清先生

初の名誉町民に 宮崎 清先生(千葉大学 理事・副学長)

生活工芸運動の発展に多大な功績を残された宮崎清先生が、三島町の名誉町民となりました。名誉町民制度は、町出身者に限らず町の功労者を顕彰する制度として今年六月に創設され、九月定例議会で宮崎清先生を最初の名誉町民とすることが決まりました。

宮崎先生は、昭和五十六年に伝統工芸調査のために三島町を訪れたことをきっかけに、昔ながらのものづくりを受け継いできた町民と交流を深めました。そして、野山の材料と伝統の技による生活用具づくりを継承・発展させる「生活工芸運動」を提唱。ものづくりは特に高齢者の楽しみ・生きがいとなりました。平成十五年には、農民の工芸としては全国で初めて、「奥会津編み組細工」として国の伝統的工芸品に指定されるに至りました。また、宮崎先生は大学での活動を通して、国内はもとより台湾や中国など海外へも、三島町の生活工芸運動を紹介し、農山村の伝統的な生活文化を広めてくれました。

昭和三十〜四十年代の高度経済成長時代、工業製品が大量に流通するようになり、農山村の伝統的な生活文化は失われようとしていました。便利な都市での生活が発展し、地方の過疎化が進む中で、宮崎先生は早くから農山村に着目し、暮らしの中にある魅力を再確認することが地域づくりの原点であるとして、何度も三島町を訪れ調査研究を重ねてくれました。最近では様々な場面で、全国各地の農山村の暮らしが見直されていることは、皆さんも聞き知っていることと思います。

都市化、工業化することだけが発展ではなく、地域の歴史、風土、多様性を活かした内発的な地域づくりを住民の手で行うことを、宮崎先生は教えてくださいました。生活工芸運動はまさに内発的地域づくり。今、多くの町民がものづくりを楽しみ、様々な交流活動を展開しています。宮崎先生はその礎を築いてくださいました。名誉町民、本当におめでとうございます。



大勢の高齢者の皆さんが集まった敬老会（生涯学習センター-体育館）

三島は元気な高齢者の町

三島町敬老会

九月五日、三島町敬老会が生涯学習センター体育館で行われ、招待された満七十五歳以上の方々六百九名のうち、二百七十二名が出席されました。

三島町の最高齢は百二歳の片山フジノさん（宮下）、次いで百歳の栗城菊江さん（宮下）で、このお二人が百歳を超えられたご長寿です。また、秦トミノさん（大石田）と角田ヲリ子さん（川井）のお二人が九十九歳の白寿、十六名の方々が八十八歳の米寿を迎えられ、それぞれ宮下・西方郵便局より表彰されました。また、結婚五十年の金婚を迎えられたご夫婦十四組が、「しあわせ金婚夫婦」として福島民報社より表彰されました。式に続いて行われた演芸会では、スポーツ民謡、太極拳、カラオケ、神楽、三島保育所の子どもたちのお遊戯などが披露され、楽しいひと時を過ごしました。

三島町の高齢化率は四十七・七%。県内はもちろん全国でも有数の高い高齢化率です。そのため一人当たりの医療費は県内でも高い順位にあります。高齢者に限らず、比較してみると低く、元気な高齢者が多いと言えます。編み組細工などのものづくりや、様々な健康づくり教室における努力が健康につながっているのだと思います。むしろ四十～五十代など、若い世代が健康管理に注意しなければなりません。そのお手本となる元気な高齢者が、三島町にはたくさんいるのです。

様々な時代を乗り越え、歴史を刻んでこられた高齢者の皆さん。高齢者の元気は町の力です。積み重ねてきた経験や生活の知恵、そしてそれぞれの「健康の秘訣」を、若い世代に伝えていただきたいと思っています。

《三島町の人口に関する統計》
平成19年8月1日現在

総人口	2,142人
14歳以下人口	177人
15～64歳人口	986人
65歳以上人口	979人
高齢化率	45.7%

※高齢化率は昭和村54.3%、金山町53.0%に次いで県内3位

福島県情報統計領域編「福島県の推計人口」より抜粋

《1人当たりの年間医療費》
平成18年度

	合計	老人保健分 (75歳以上)
県平均	380,599円	764,466円
三島町	446,478円	678,557円
県内順位	4位	45位

三島町高齢者番付

(9月15日現在)

【女性】

片山	フジノさん（宮下）	102歳
栗城	菊江さん（宮下）	100歳
秦	トミノさん（大石田）	99歳
角田	ヲリ子さん（川井）	98歳
中村	キミノさん（西方）	97歳
小柴	キンさん（高清水）	97歳
海老名	ナミノさん（松原）	97歳

【男性】

長谷川	直一さん（桑原）	94歳
渡部	清さん（荒屋敷）	93歳
二瓶	富雄さん（大谷）	92歳
角田	二八さん（川井）	92歳
小林	貞司さん（大谷）	92歳
浅沼	仙吉さん（早戸）	92歳
山垣	巨さん（西方）	91歳

しあわせ金婚夫婦（結婚50年）

目黒	喜夫さん・トミ子さん（宮下）
渡部	富次さん・サトミさん（宮下）
長谷川	賢一さん・サツキさん（川井）
諏江	貞二さん・スミ子さん（松原）
高橋	孝さん・カツ子さん（西方）
山内	英男さん・洋子さん（西方）
小柴	一郎さん・美代子さん（西方）
秦	和恵さん・サチコさん（大石田）
長谷川	新喜さん・テル子さん（大石田）
二瓶	信雄さん・キシイさん（名入）
小柴	康彦さん・サタ子さん（名入）
菅家	藤男さん・タツイさん（高清水）
目黒	一美さん・タミ子さん（早戸）
五十嵐	幸春さん・ヤス子さん（早戸）

(順不同)



「足腰げんき教室」や「スッキリ・サラサラ教室」などでは、高齢者だけでなく40～50代の方々も健康な体を目指して積極的に取り組んでいる。



編み組細工などのものづくりは手先を使い、材料採りの季節は山を歩く。デザインを考えるために脳も活性化するため、何より楽しさが健康の秘訣かもしれない。



佐藤雄平県知事（中央）を表敬訪問した町民の皆さん

地域医療の未来のために 県立宮下病院等後援会が県知事表敬訪問 医学生が三島町等で医療研修

8月20日、県立宮下病院等後援会では、町民約20名で県知事を表敬訪問しました。これは、無料送迎バスの運行や皮膚科の開設など、県立宮下病院の充実に向けて取り組んでいただいていることに対する感謝と、療養型病床等の要望を行ったものです。佐藤雄平県知事は「後援会の存在はありがたい。県の財政の中で病院が特に大変だが、一つの社会保障と考えている。」と話されました。

また、8月22・23日、県立医科大学などの医学生16名が三島町などで医療研修を行いました。22日は生涯学習センターカタクリで西方地区の方々と懇談、23日は県立宮下病院を訪れ、医師や看護師、レントゲン技師の話聞き、診療の現場にふれました。医学生からは「将来、へき地医療に携わってみたい。」という声も聞かれました。地域医療を担う医師に成長し、いつの日か宮下病院に赴任して下さるかもしれませんね。



住民の話を熱心に聞く医学生の皆さん

1日道路パトロールを体験

石岡成予さんと阿部みずほさん

8月8日、三島小6年の石岡成予さん（大登）と阿部みずほさん（桧原）が1日道路パトロールを体験しました。これは道路の役割と重要性に対する関心を高めるために、8月を「道路ふれあい月間」と定め、そのキャンペーンとして行われたものです。二人は、道路補修作業や衛星電話を使った通信、工事現場見学などを通じ、道路の大切さを学びました。



道路補修作業に挑戦する石岡さん(左)と阿部さん(右)

趣き深い「切り絵」の世界へ

佐藤朋義先生の切り絵教室

切り絵に長年取り組んでいる佐藤朋義さん（宮下）の指導による切り絵教室は、町民センターで週1回行われています。切り絵は、色紙を切り抜いて絵を描く技法で、独特のあたたかい魅力があります。参加者の皆さんは、下絵をもとに作品作りに挑戦しています。参加してみたい方は下記までお問い合わせください。

●問合せ先/三島町公民館 Tel 48-5599



佐藤朋義さん(左端)と参加者の皆さん

笛と太鼓が響く秋の夜 各地区で秋祭り

9月15日、町内各地区で秋祭りが催されました。宮下地区では、三島神社奉賛会による山車が出て、小中学生などの太鼓や笛の音が響きました。山車は宮下町内を練り歩いた後に、宮下ふれあい公園「びおたん」の広場に到着し、豊年踊りが行われました。豊年踊りでは、子どもたちや若者たちが様々な衣装をして祭りを盛り上げました。



宮下町内を練り歩いた山車



豊年踊りで衣装した若者たち
さて誰でしょう？

「尾瀬街道みしま宿」来場者25万人超 道の駅登録1周年

「尾瀬街道みしま宿」が道の駅登録1周年を迎え、8月26日、記念セレモニーが開かれました。セレモニーでは、みしまコーラスクラブの皆さんが合唱を披露しました。また、この日来場者25万人を達成し、25万人目となった福島市の菱沼さんご夫妻に、桐の額が記念品として贈られました。この額には、三島町で書道教室を開いている宮城教育大学教授 加藤豊弼先生が、「益路」と書いてくださいました。また加藤先生からは、みしま宿内の食堂に名前がなかったことから、「桐花亭」と書いた桐の看板をいただきました。

道の駅駅長の菅家政義さん（荒屋敷）は、「今までたくさんの方々に利用してもらい、感謝いたしております。今後もいっそう利用してもらえようスタッフ一同努力してまいります。」と挨拶しました。

今後も道の駅「尾瀬街道みしま宿」では、地域の情報を発信し、お客様に満足していただけるサービスを提供できるよう努力を重ねてまいります。



道の駅で合唱を披露したみしまコーラスクラブ

残暑の夜に笑いが響く月見寄席

西隆寺で三遊亭竜楽独演会

8月20日、心地よい風が吹くようになった晩夏の夜を極上の笑いで楽しもうと、西隆寺（西方）の主催により、三遊亭竜楽師匠の独演会が開催されました。竜楽師匠は、落語入門小噺集、落語一席、お楽しみ古典落語を披露。会場となった西隆寺の広間は笑いに包まれ、残暑の夜の楽しいひと時を過ごしました。



西隆寺で開催された三遊亭竜楽独演会

資源物の出し方のお願い

**プラスチック製容器包装の
分別収集の徹底について**

プラスチック製容器包装の分別収集が開始して3年目を迎えましたが、プラスチック製容器包装以外のもの、中が汚れているものがまだ見受けられます。これらの異物は手作業で除去しておりますが、量が多いと除去に相当の時間を要してしまいますので、より一層の分別の徹底をお願い申し上げます。



この写真のようなものはプラスチック製容器包装ではありません。



中が汚れているものは出せません。

**スプレー缶やカセットボンベ等の
出し方について**

スプレー缶やカセットボンベ等は、中身の残っているものや穴の開いていないものが搬入された場合、爆発事故を引き起こす原因となります。必ず中身を使い切り、穴を開けてから出すようにして下さい。なお、どうしても使い切ることができない時は、商品に表示されているメーカーあるいは社団法人日本ガス石油機器工業会（TEL 0120-14-9996）にお問い合わせ下さい。

また、爆発性や引火性のある危険なものについては、絶対に出さないでください。



スプレー缶やカセットボンベ等は、必ず使い切って穴を開けて出してください。

汚泥肥料の無料配布のお知らせ

し尿及び浄化槽汚泥を処理する際に発生する汚泥を利用した「汚泥肥料」を無料で配布しています。汚泥肥料は、植木・家庭菜園などの育成、酸性土壌の改良に適しています。袋詰（1袋約15kg）または4t車（4t単位）での配布となります。4t単位の場合は、無料で車が通れる道路までお届けしますが、袋詰の場合は当センターまで取りに来ていただくこととなります。ご希望の際は必ず日時、数量等の予約をお願いします。また、配布後は速やかに土等と混ぜ合わせてお使いください。

●申込先
会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センター 施設第2係
会津若松市神指町大字北四合字深川西292-2
TEL 0242-27-9004（内線53）



■が当センターです。

●問合せ先／役場 町民課 町民生活係 TEL 48-5555

ECO MUSEUM PROJECT

三島町エコ・ミュージアムプロジェクト

事務局／役場 産業建設課 産業係

TEL48-5533

自然と共に生きる暮らしに学ぶ

受講者八名を迎えて開講

「奥会津案内人」講座

「奥会津案内人」講座は、インタープリター（案内人）として活動できる基礎技術を実習形式で学びながら、奥会津の自然・人・文化の「案内人」として、農村と都市の架け橋となる人材を育てることを目的としています。NPO法人「環境文化のための対話研究所」代表理事の嵯峨創平さんに講座全体のコーディネーターをお願いし、専門知識を有する講師陣による座学・室内演習・野外演習の



駒啼瀬ビューポイントから地域を観察する受講者

リキウムで、八月から一月まで全五回六十五時間の講座が開催されます。

受講者は町内から三名、町外から五名計八名。運営スタッフは六名。毎回、生涯学習センターカタクリでの合宿形式で様々な共同作業に取り組み、お互いを理解し合える関係を築きながら講座は進んでいます。

第一回は八月二十五・二十六日に開催され、初日は体験学習法の基礎を学んだ後、奥会津について知っていることなどを絵や文字で模造紙に表現する「奥会津まんだら」を作成。受講者の皆さんが持っている奥会津のイメージが浮かび上がってきました。

二日目は大谷地区での「地域ワークショップ」。本村、中際、鳥海の三グループに分かれて、地区の方々のお話を聞きながら暮らしの知恵や文化を調べ、壁新聞風にまとめました。ネイチャーガイドの海老名健さん（松原）にもご指導いただきました。受講者の皆さんは、この山村に五回も通って来ようという方々ばかりあり、問題意識が高く前向きな姿勢が見られました。

第二回は九月十五・十六日、再びカタクリに集まり、初日は前回大谷地区で得た情報をもとに、簡単な体験学習プログラムのアイデアを出し合いました。夜は三島町文化財専門員の角田伊一さん（川井）による「奥会津の民俗行事とにいしえの街道」と題した講話を受講。民俗行事や古道の研究から、人・物・文化の流れが見えてくる興味深いお話でした。

本講座の目的は、奥会津の案内人を養成すること。とは言っても受講者の動機は様々です。少なくともこの学びの場を通して、日本の原風景とも言える奥会津地域に深くふれたい、自らの生活を振り返るきっかけとしてもらうこと、様々な体験学習や企画の方法論を吸収しながら、今後の各人の創造的な活動を切り拓いてもらうことを願っています。次回は十月二十・二十一日、これまでの知識や手法を組み合わせたインタープリター実習を行います。



地域資源を表現した壁新聞作り

二日目は福島市小島の森チーフレンジャーの鈴木弘之さんを講師に迎え、自然環境フィールドワークを実施しました。まず駒啼瀬ビューポイントから三島町の風景を観察。その後、西方、大石田、滝谷の三地区に分かれて地域資源を探して歩き、壁新聞風にまとめました。最後に齋藤茂樹町長による「ふるさと運動の歩みとこれから」と題した講話を受講。企画課長時代から現在までの町づくりの経験や、今後の展望についてのお話を聞きました。

献 血

あなたの善意が尊い命を救います
献血にご協力ください

役場 町民課

今年度2回目の「愛の献血」を下記のとおり実施します。県内の献血者数は平成3年をピークに、会津地域においては平成9年をピークに減少しており、血液の安定確保ができない深刻な状況となっています。皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

○日 時 10月11日(木)

12時30分～午後5時30分

○場 所 町民センター

《献血ができる方》

・16歳～69歳の方

※65歳以上の方については、健康を考え、60歳から64歳の間に献血の経験がある方に限らせていただきます。

・体重 男性45kg以上 女性40kg以上

・薬を服用している方、妊娠中の方はご遠慮ください。

●問合せ先 役場 町民課 町民生活係

TEL 48-5555

自 動 車

ドライバーの皆さんへ

車の日常点検は行っていますか
国土交通省 東北運輸局 福島運輸支局

国土交通省では、10月を重点月間として「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開しています。車の部品は、走行や時間経過に伴い劣化していきます。しかし、日頃細やかな点検を行ってれば、運転中のトラブルの多くは回避できます。車に注がれる愛情は、車を守るだけでなく、人の命や環境も守ることにつながります。車の日常点検はきちんと行いましょう。

●国土交通省 東北運輸局 福島運輸支局

TEL 024-546-0342

●福島県自動車点検整備推進協議会

TEL 024-546-3451

無 料 相 談

全国一斉 司法書士無料法律相談
福島県司法書士会

10月1日は「法の日」です。福島県司法書士会では、登記や供託の手続き、訴訟書類の作成などについての無料相談を行います。

○相談内容

不動産の相続・売買・贈与などの登記
会社の設立・役員変更・増資などの登記
借地借家法に基づく手続き、供託の手続き
家事審判手続き・成年後見申立手続き
民事裁判手続き書類の作成、債務整理 等

※相談は個別にうかがい、秘密は厳守します。

○開催日・場所

10月2日(火) 会津坂下町老人福祉センター

10月2日(火) 喜多方市保健センター

10月6日(土) 会津若松市中央公民館

○相談時間 午前10時～午後3時

○相談員 福島県司法書士会会員

●問合せ先 福島県司法書士会

TEL 024-534-7502

事業主の皆様へ

外国人の雇用・離職時に届出が必要になります
福島労働局 ハローワーク

10月1日から、外国人（特別永住者及び在留資格「外交」「公用」の者を除く）を雇用している事業主に届出が義務付けられます。外国人の雇用・離職の際に、その氏名、性別、国籍、在留資格、在留期限等をハローワークに届け出ることになります。詳しくは下記へお問い合わせください。

●問合せ先/福島労働局 職業対策課 雇用指導係

TEL 024-528-0259

または、お近くのハローワークへ

オータムジャンボ宝くじ

オータムジャンボ宝くじの収益金は、全額が市町村に交付され、明るい町づくりや災害対策、少子高齢化対策など、地域住民の福祉向上のために使われます。

○発売日 10月1日(月)～10月19日(金)

○抽選日 10月24日(水)

募 集

自衛官を募集します
防衛省 自衛隊福島地方協力本部

○募集種目 2等陸・海・空士
○受験資格 日本国籍を有し、18歳以上27歳未満の男子

○受付期間 11月21日まで

○受験手続 志願票2枚、受験票1枚、写真3枚
(上半身、脱帽正面向き、縦4cm、横3cm)を提出する。

○試験期日 平成19年11月25日(日)

○試験科目 国語・数学・社会(択一式)、作文
口述試験(個別面接)、身体検査及び適性検査

○試験会場 自衛隊郡山駐屯地
(郡山市大槻町字長右衛門林1)

○合格発表 12月上旬

○入隊予定 来年3月下旬

○給与等 初任給157,500円
9ヵ月後172,100円
ボーナス年2回、各種手当有り

○退職手当 任期終了時に支給
1任期(2年)約60万円

○衣・食・住 食事、制服等、寝具等は、支給または貸与

○休 暇 年次休暇(年間24日)のほか、夏季休暇及び年末年始休暇有り
週休2日制

○任期満了 退職予定隊員に対し、就職の紹介や希望により技能取得の訓練も受けられます。

●問合せ先 防衛省 自衛隊福島地方協力本部
会津若松出張所

TEL 0242-27-6724

年 末 調 整

年末調整説明会のお知らせ
会津若松税務署

平成19年分の年末調整関係事務の説明会を下記のとおり開催しますのでご参加ください。

○日 時 11月13日(火)

午後1時受付開始 午後3時終了

○場 所 金山町開発センター

○対象地域 三島町・金山町・昭和村

●問合せ先 会津若松税務署 法人課税第一部門

TEL 0242-27-4346

観 光 振 興

観光まちづくりの秘訣を伝授
「観光カリスマ塾」受講生募集

「観光カリスマ塾」は、観光地の活性化に成功した観光カリスマを講師に迎え、活動現場の体験ワークショップなどを行い、地域の観光振興を担う人材を育成するために開催します。

○日 時 11月1日(木)～2日(金)

○場 所 会津若松市七日町通り

○講 師 会津若松商工会議所副会頭
渋川恵男氏

○概 要 まちづくりと観光振興をテーマとして、観光カリスマ渋川氏の講義や現地見学、意見交換等を行います。

○受 講 料 無料(交通費等は自己負担)

●問合せ先 東北運輸局 観光地域振興課

TEL 022-380-1001

※詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanko/charisma.html>

就 職 支 援

若者・フリーター就職セミナーのご案内
福島県就職サポートセンター

就職活動中の若者・フリーターの皆さんを支援するため、県が会津若松市と共催で就職支援セミナーを開催します。セミナーでは、履歴書の書き方、面接の受け方を始め、就職活動に役立つことを実践形式で学ぶことができます。参加は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

○日 時 10月6日(土)

午前10時～午後5時

○場 所 会津若松市中央公民館

○主要内容 午前：自己理解・目標設定
午後：履歴書の書き方
面接の受け方 等

○定 員 15名

(申込多数の場合は、抽選により決定させていただきます。)

●申 込 先 福島県就職サポートセンター

TEL 024-525-0047

みしま

皆様からの情報やご意見、ご質問など、お気軽にお寄せください。

●役場 総務課 企画財政係 Tel 48-5515

歳時記 萌の会

空蟬や老幹に縋る爪深し
難解の句集疎まし合歡の花

松原 片山 祐一

友禪の下絵に生きる花の露
孟蘭盆会一年振りの皺の笑み

宮下 佐藤 朋良子

草の実に追はれ茗荷の花に逢う
診察を待ち騒ぐ児等秋暑し

宮下 栗城 三保

芋の露微風宝石まわしおり
見守るを日課としたる豊の秋

宮下 志田 たつの

これからの行事予定

9月29日(土) 9:00~	三島保育所運動会(三島保育所)
10月 1日(月)13:30~	足腰げんき教室(町民センター)
10月 2日(火)	三島町エコ・ミュージアムプロジェクト 先進地視察研修(山梨県北杜市)3日まで 西方はつらつ元気塾・松原はつらつクラブ 「奥会津の文化財巡りと田子倉湖遊覧」
10月 3日(水)13:00~	第2回スッキリ・サラサラ教室(町民センター)
13:45~	健康づくり講演会(町民センター)
10月 9日(火)11:15~	4ヶ月児健診(坂下厚生総合病院)
13:00~	足腰げんき教室(西会津さゆり公園プール)
10月10日(水)13:30~	機能訓練会(福寿草)
10月11日(木) 9:30~	心配ごと相談(福寿草)
14:00~	地域の食材を活かした創作料理教室(町民センター)
10月14日(日) 9:00~	桐の里町民運動会(町民運動場)
10月15日(月)10:00~	第3回スッキリ・サラサラ教室(町民センター)
10月17日(水)13:00~	3歳児健診(柳津町 銀山荘)
10月18日(木)	高清水いきいきサロン・間方いきいきクラブ 「社会見学 - 蔵とラーメンの街 喜多方市」
10月19日(金)10:00~	YYサークル(金山町老人福祉センター)
10月20日(土) 9:30~	キッズクッキング(町民センター)
11:30~	首都圏三島会総会(東京都上野)
13:00~	奥会津案内人講座(第3回) 21日まで
10月23日(火)13:30~	からだ元気運動教室(町民センター)
10月25日(木)13:00~	ポリオ経口接種(町民センター)
10月26日(金) 9:00~	4歳児発達健診(町民センター)
10月28日(日)10:00~	三島町消防団秋季検閲式(町民運動場)

町の人口 (住民基本台帳) 9月1日現在

総人口2,231人(- 4) 男1,050人(- 5) 人の動き 出生 0人 死亡 4人
世帯数883世帯(± 0) 女1,181人(+ 1) 転入 3人 転出 3人

発行/三島町 編集/三島町役場 総務課 企画財政係
住所/福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350 Tel.0241-48-5515
ホームページアドレス <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

第6回 会津地鶏まつり

10月7日(日) 午前10時~午後3時

場所 美坂高原

《同時開催》美坂高原新そばまつり

●申込・問合せ先/役場 産業建設課 産業係
Tel. 0241-48-5533

ご寄付ありがとうございました
社会福祉協議会へ

ご遺志によるご寄付

五十嵐 洋 一 様 (大谷)
渡部 政 司 様 (荒屋敷)
小柴 郁 代 様 (西方)

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では8月中、事務所荒し1件と自販機ねらい1件の犯罪が発生しました。会津坂下警察署では、廃棄物を燃やしたり、不法投棄するなどの事案が多くなっています。家庭ごみや廃材、農作業などで出たごみは、許可なく燃やすことはできません。適切に処分してください。

三島町内街頭犯罪等発生状況(1~8月)

区分	管内	三島町
空き巣ねらい	1	
忍込み	1	
事務所荒し	4	1
出店荒し	2	
自動車盗		
オートバイ盗	1	
自転車盗	13	
自販機ねらい	3	2
車上ねらい	3	
街頭犯罪計	28	3
全刑法犯	96	4

9月の納税

国民健康保険税 第3期
介護保険料(普通徴収) 第3期